

1 単元名 しょうかいします！委員会活動 ～4年生に委員会活動の魅力を伝えよう～

教材名 「伝えよう 委員会活動」(東京書籍 5年)

2 単元の目標

- これまでの経験を振り返りながら必要な事柄を整理し、進んで委員会活動の魅力が伝わる紹介文を書こうとする。 (国語への関心・意欲・態度)
- 委員会活動の経験から、紹介するために必要なことを考えて書く事柄を集め、全体を見通して整理することができる。 (書くこと)
- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮することができる。 (書くこと)
- 紹介文を書くために、文章の特徴や展開、構成を理解することができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 単元について

(1) 児童観

本学級の児童に対して、目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にして書く力に関する実態調査を行った。調査では、運動会で行った係活動について4年生に紹介する文章を四百字以内で三段落構成にして書くという条件を設定した。その結果、目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にして書くことができた児童が*人、集めた材料が事実のみ、感想のみになるなど、偏りがある児童が*人、事実と感想が交互に書かれるなど、材料を分類できていない児童が*人、書き出すことができない児童が*人であった。目的や意図に応じて、必要な材料を集めたり、構成や展開を考えたりすることに課題があることが分かった。以上のことから、目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にして書く力を育てる学習指導を行う必要があると考える。

(2) 言語活動とその特徴

本単元では、4年生に向けて委員会活動の魅力を伝えるための紹介文を書く「しょうかいします！委員会活動～4年生に委員会の魅力を伝えよう～」という言語活動を設定した。紹介文には、事実を書く部分と自分の考えを書く部分を位置付けることで、「目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。」(B書くことア)「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮すること。」(B書くことイ)を確実に実現できるようにしている。

(3) 教材観

本教材は、目的や意図に応じて、必要な材料を集め、整理し、構成や展開を考慮することをねらいとしている。児童にとって身近な話題であることや、相手意識や目的意識をもちやすいという点で、紹介文を書くために必要な情報を集めたり、取捨選択しながら構成を考えたりするのに適した教材であると考ええる。

(4) 指導観

本単元では、小学校第5学年「伝えよう、委員会活動」において、「4年生に委員会活動の魅力を伝えよう」という紹介文を書く言語活動を設定し、相手意識や目的意識をもたせる。まず導入で、実態調査を参考にして作成した2種類のモデル文を比較することで、紹介文において必要な材料を考えるとともに、学習の見通しをもたせる。次に、紹介文を書くための材料を集め、付箋を活用し事実と自分の考えに分ける。付箋の操作を通して思考の過程を可視化し、材料を取捨選択しながら、文章の構成を考えていく。各活動には意図的な交流の場を位置付け、児童同士が学び合えるようにする。さらに、必要な語彙や文例、推敲のポイントを示した学習の手引きを用意する。完成した紹介文は、4年生から感想をもらい、自分の文章の振り返りに生かせるようにする。以上のような学習活動を行えば、目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にして書く力を身に付けることができると考える。

4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	語について知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経験を振り返りながら必要な事柄を整理し、進んで、委員会活動の魅力が伝わる紹介文を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動の経験から、紹介するために必要なことを考えて書く事柄を集め、全体を見通して整理している。 Bーア ・筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 Bーイ 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介文を書くために、文章の特徴や展開、構成を理解している。

5 単元の指導計画（9時間扱い）

次	時	主な活動	指導上の留意点・主な評価規準（評価は㊦）
一	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 「しょうかいします！委員会活動」～4年生に委員会活動の魅力を伝えよう～を書くための見通しをもとう。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 4年生に委員会活動の魅力を伝えるための紹介文を書くことを知り、学習の見通しをもつ。 2 教師作成の2種類のモデル文を比較し、委員会活動の魅力を伝えるために、紹介文に必要な材料は何かを考える。 3 学習計画表を使い、学習の見通しをもつ。 4 本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誰に（相手意識）何のために（目的意識）紹介文を書くのかを、理解できるようにする。 ○ まずはバッドモデルを提示し、気付いたことはないか児童に問いかける、次にグッドモデルを提示し、比較することで紹介文に必要な材料や文章の構成を理解できるようにする。 ○ 委員会活動の魅力を紹介するためには、「事実」と「自分の考え」の両方が必要であることに気付けるようにする。 ○ 学習計画表を使うことで、今後の学習の見通しがもてるようにする。 ㊦ 紹介文について関心をもち、4年生に委員会活動の魅力を伝えるという目的を意識して学習活動に積極的に取り組もうとしている。 (図ワークシート・観察)
二	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 「しょうかいします！委員会活動」の紹介文に必要な材料を集めよう。 </div> <ol style="list-style-type: none"> 1 委員会活動を紹介するために必要な材料の集め方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時を振り返り、紹介文に必要な材料を確認する。（「事実」・「自分の考え」） ・ 書くための材料を集めるための、思考見える化シート①の使い方を確認する。 2 「思考見える化シート①」にキーワードを書いた付箋を貼る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人学習の後、ペアやグループで交流し、集めた材料を確認したり、追加したりする。 3 拡大した「思考見える化シート①」を黒板に貼り、全員で確認する。 4 集めた材料の中で1番伝えたいことを赤鉛筆で囲む。 5 本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「思考見える化シート①」を掲示し、使い方を確認しながら、材料の集め方を確認できるようにする。 ○ 委員会活動の様子の写真を掲示することで、児童の思考が広がるようにする。 ○ 拡大した付箋のモデルを使って、学習活動の手順を示し、付箋の使い方や活用の仕方を理解できるようにする。 ○ 「思考見える化シート①」を使って、委員会活動の紹介に必要な材料をキーワードでまとめられるようにする。 ○ 個人の活動後、ペアやグループ活動の場を設定し、書くための材料を確認したり追加したりすることができるようにする。同じ委員会だけでなく、違う委員会で構成するなど、グループ構成を工夫し、様々な視点から材料を集められるようにする。 ○ 友達の考えは付箋の色を変えて追加するなど、区別できるようにする。 ○ 集めた材料の中で、1番伝えたいことを赤鉛筆で囲むことで、紹介文の意図を明確にすることができるようにする。 ㊦ 紹介文を書くための材料を集めている。 (図ワークシート・観察)

2	<p>集めた材料を「事実」と「自分の考え」に分けよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 集めた材料を分類するために使う「思考見える化シート②」の使い方を知る。 委員会を紹介するために集めた材料を、「事実」と「自分の考え」に分類し、色分けした付箋で「思考見える化シート②」に整理する。 個人学習の後、ペアやグループで交流し、「事実」と「自分の考え」に分類できたか確認し合う。 本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の学習を振り返りながら、本時の学習の見直しをもてるようにする。 ○ 「思考見える化シート②」を掲示し、使い方を確認し、本時のねらいを確認できるようにする。 ○ 付箋を活用し、集めた材料を事実と自分の考えに分類できるようにする。 (事実→青シール, 自分の考え→赤シール) ○ 「事実」と「自分の考え」の違いについては、例示しながら丁寧に説明していく。 ○ ペアやグループで交流し、「事実」と「自分の考え」に分けることができたかどうか、お互いに確認し合えるようにする。 ○ 材料を確認し、修正したい時には、シールを上から貼るよう伝える。 <p>㊦ 集めた材料を「事実」と「自分の考え」に分けて整理している。 (図ワークシート)</p>
3 本時	<p>自分の思いが伝わるように、文章の構成やつながりを考えよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 集めた材料を並べ替え、文章の構成を考えるための「思考見える化シート③」の使い方を知る。 「思考見える化シート②」で整理した付箋を操作しながら、委員会活動の魅力が伝わるような紹介文になるよう、文章の構成を考え、「思考見える化シート③」に付箋を張る。 材料同士をつなぐ言葉や文などを書き足す。 個人学習の後、グループで交流し、観点をもとに文章の構成を確かめ合えるようにする。 本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時を振り返り、「事実」と「自分の考え」に分けながら文章の構成を行うと、分かりやすい文章になったことを再確認する。 ○ 付箋を操作することで、自分の伝えたいことに合わせて、材料を取捨選択し「始め・中・終わり」で構成できるようにする。 ○ 「表現サポートシート」に、双活型と尾括型の文章の構成例を示すことで、文章の構成の一助とする。 ○ 伝えたいことが明確になるような構成を選択するよう助言する。 ○ 似たような材料がある時には、いくつかにしぼるなど、材料の選び方について具体的に提示する。 ○ 材料同士をつなぐ言葉や文を考える際には、材料同士を関係付けていくことが大切であることを確認する。 ○ アドバイスカードを活用し、「事実」と「自分の考え」が入っているかどうか、魅力が伝わる材料となっているかなど、観点をもって交流できるようにする。 <p>㊦ 伝えたいことを明確にするために、文章の構成や展開を考えている。 (図ワークシート)</p>
4 5	<p>言葉の使い方や文末表現に気を付けて、下書きをしよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「思考見える化シート③」をもとに、紹介文を書くために集めた材料を確認しながら、下書きを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 紹介文に必要な語彙や文例を示した「表現サポートシート」を必要に応じて活用することで、文章の書き出しや文末表現の工夫に生かせるようにする。 <p>㊦ 伝えたいことに合わせて、言葉の使い方を工夫している。 (図ワークシート)</p>

	6	<p>2 アドバイスカードをもとにグループで交流し、観点に沿って文章を見直し、推敲する。</p> <p>3 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○ 委員会の魅力を紹介するための紹介文に必要な条件を満たしているか、推敲の観点を示した「表現サポートシート」を活用し、付箋を使って、紹介文を推敲できるようにする。</p> <p>㊦ 文末表現に注意しながら、事実と自分の考えを区別して書いている。 (図ワークシート)</p>
	7	<p>読み手を意識して、ていねいな文字で清書しよう。</p> <p>1 原稿用紙の使い方を確認する。</p> <p>2 清書を書く。</p> <p>3 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○ 拡大した清書用紙を活用することで、原稿用紙の使い方を振り返ることができるようにする。</p> <p>○ 推敲のポイントを意識しながら、清書に取り組めるようにする。</p> <p>㊦ 紹介文の特徴を理解し、構成や展開を工夫している。 (図ワークシート)</p>
3	1	<p>学習活動をふりかえろう。</p> <p>1 友達同士で交流し、紹介文や4年生からの感想カードを読み合い、学習の成果を確認する。</p> <p>2 「ふりかえりシート」に自己評価や感想を記入する。</p> <p>3 単元の学習を振り返り、学習してできるようになったことを全体で確認する。</p>	<p>○ 事前に、4年生に感想カードを書いてもらっておく。観点を示した感想カードを活用し、4年生から感想をもらうことで、目的や意図に応じた文章を書くことができたか、振り返ることができるようにする。</p> <p>○ 友達同士で交流し、お互いの紹介文や4年生からの感想カードを読み合いながら、これまでの学習活動を振り返る視点をもてるようにする。</p> <p>○ 「ふりかえりシート」を活用し、観点をもとに学習活動を振り返ることができるようにする。</p> <p>㊦ 紹介文を書く学習を通して学んだことを今後の学習に生かそうとしている。 (図ワークシート・自己評価表)</p>

6 本時の学習

(1) 目標

伝えたいことを明確にするために、文章の構成や展開を考えることができる。

(2) 準備・資料

学習計画表, 紹介文のモデル, 拡大資料, 思考見える化シート③, 付箋, 委員会活動の写真, 表現サポートシート, 国語辞典

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価 (評価は㊦)
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の思いが伝わるように、文章の構成やつながりを考えよう。</p> </div> <p>2 前時までの学習を振り返る。</p> <p>(1) 相手意識・目的意識の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;"> <p>誰に・・・4年生に</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;"> <p>何を・・・委員会活動の魅力</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px 0;"> <p>魅力・・・楽しそうだな 活動してみたいな 入ってみたいな</p> </div> <p>(2) 文章の構成について</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「事実」 「自分の考え」 ※分けることが大切</p> </div> <p>3 文章の構成や展開を考える。</p> <p>(1) コースを選択する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>スタンダードコース レベルアップコース</p> </div> <p>(2) 整理した付箋を操作しながら委員会活動の魅力が伝わるような紹介文になるよう文章の構成を考え、思考見える化シート③に付箋を貼る。</p> <p>※ 個人10分</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の内容が多いので二つにしぼる。 ・やりがいはいどちらの材料が伝わるだろう。 ・中心的な仕事を先にしよう。 </div> <p>(3) 材料同士をつなぐ言葉や文などを書き足す。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会の名前を示して書き出そう。 ・自分の思いを書き出しの一文にしよう。 ・始めと中をつなぐ言葉は何がよいだろう。 </div> <p>4 グループで交流し、観点をもとに文章の構成や展開について確かめ合えるようにする。</p> <p>※ グループ20分</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・事実と自分の考えが両方とも入っているだろうか。 ・委員会の魅力が伝わってくるだろうか。 ・もう一度材料を見直そう。 </div> <p>5 本時の学習を振り返る</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いが伝わるようにするには、事実と自分の考えを分けて文章を構成することが大切。 ・材料同士の関係を整理すると、材料同士をつなぐことができる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題を読み、本時の流れを意識して、学習の見通しをもてるようにする。 ・学習計画表で、前時までの流れを確認する。 ・誰に何を伝えるための紹介文であるか、「魅力」とは具体的に読み手をどのような気持ちにさせるものなのかを全体で確認する。 ・児童の様子に合わせて、必要があれば「魅力」について国語辞典を引いて意味を確認する。 ・教室に掲示してあるモデル文を活用し「事実」と「自分の考え」に分けながら文章の構成を行うと、分かりやすい文章になったことを振り返ることで、前時とのつながりを確認し、本時のゴールを意識できるようにする。 ・学習の進め方について全体で確認し、見通しをもって学習活動に取り組めるようにする。 <p>・「表現サポートシート」を一人一冊ずつ配布する。</p> <p>・拡大した「思考見える化シート③」を使いながら、スタンダードコース・レベルアップコースの違いを確認する。</p> <p>・構成サポートシートに文章の構成例を2パターン示すことで文章の構成の一助とする。</p> <p>・伝えたいことが明確になるような構成を選択するよう助言する。</p> <p>・似たような材料がある時には、いくつかにしぼるなど、材料の選び方について具体的に提示する。</p> <p>・付箋を操作することで自分の伝えたいことに合わせて、材料を取捨選択し「始め・中・終わり」で構成できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料同士をつなぐ言葉や文などを考える際には、材料同士を関係付けていくことが大切であることを確認する。 ・つまづいている児童には、構成サポートシートを活用するよう助言する。 ・構成サポートシートをうまく活用できない児童には、個別に支援し、材料同士をどのようにつなげばよいかを考えることができるようにする。 <p>・アドバイスカードをもとに事実と自分の考えが入っているかどうか、魅力が伝わる材料となっているかどうかなど、観点をもとに交流できるようにする。</p> <p>・交流後、アドバイスをもとにワークシートを見直し、必要があれば材料を入れ替えたり、言葉を付け足したりするよう指示する。</p> <p>評 伝えたいことを明確にするために、文章の構成や展開を考えている。 書 (ワークシート)</p> <p>・文章の構成でつまづいている児童には、個別に材料の整理の仕方を支援し、次時への意欲を持続できるようにする。</p>